ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2008年2月29日
第40号

発掘調査報告会「みんなで体験！考古学ひろば」
山形国際交流プラザ（ビッグウイング）

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2007年度 文化財普及事業

調査説明会

	市町村	遺跡名	開催日	遺跡種別
1	鶴岡市	玉作1遺跡（3次）	7月11日	集落跡
2	南陽市	天矢場遺跡（前期）	7月17日	集落跡
3	南陽市	上大作裏遺跡（2次） 檜原遺跡（3次）	7月24日	集落跡
4	鶴岡市	興屋川原遺跡（4次）	9月 3日	集落跡
5	鶴岡市	矢馳A遺跡（4次）	9月10日	集落跡
6	南陽市	加藤屋敷遺跡（2次）	9月21日	集落跡
7	米沢市	堤屋敷遺跡（2次）	9月21日	集落跡
8	山形市	川前2遺跡（3次）	10月 9日	集落跡
9	鶴岡市	岩崎遺跡（2次） 行司免遺跡（4次）	10月14日	集落跡 墳墓・祭祀跡
10	寒河江市	上の寺遺跡	10月21日	寺院跡・集落跡
11	南陽市	天王遺跡（2次）	10月16日	墳墓跡・集落跡
12	南陽市	天矢場遺跡（後期）	11月 2日	集落跡
13	鶴岡市	川内袋遺跡	11月 4日	集落跡・狩猟場
14	米沢市	下屋敷遺跡	11月30日	集落跡

外部展示

県庁展示　期日／5月28日～6月28日
「やまがた文化再発見」～世界遺産を目指して～
入場者／655人

東北芸術工科大学展示　期日／8月1日～8月10日
「高安窯の示す古代社会と埋蔵文化財の保存科学」
入場者／188人

山形空港展示　期日／9月11日～9月28日
「交流するものたち～行き交う人々～」
入場者／341人

庄内空港展示　期日／10月18日～10月30日
「発掘された庄内の歴史」～縄文時代編～
入場者／182人

文翔館展示　期日／11月14日～11月29日
「古代の器と祈り」～食器の移り変わり～
入場者／1864人

出前授業

	実施校	期日	対象・内容
1	寒河江市立醍醐小学校	4月17日	6年社会
2	山形県立山形盲学校	4月19日	6年社会
3	村山市立楯岡小学校	4月20日	6年社会
4	寒河江市立寒河江小学校	4月25日	6年社会
5	天童市立干布小学校	4月26日	6年社会
6	上山市立西郷第二小学校	4月27日	4年～5年
7	寒河江市立三泉小学校	5月 1日	6年社会
8	山形市立桜田小学校	5月 2日	6年社会
9	上山市立中川小学校	5月 8日	6年社会
10	山形市立宮浦小学校	5月10日	6年社会
11	東根市立東根小学校	5月11日	6年社会
12	山形市立大郷小学校	5月15日	6年社会
13	舟形町歴史民族資料館	5月16日	自然田舎まるごと体験
14	舟形町立長沢小学校	5月17日	6年社会
15	上山市立本庄小学校	5月22日	6年社会
16	真室川町立平枝小学校	5月25日	6年総合
17	山形市立山形二小学校	5月29日	6年社会
18	新庄市立新庄中学校	5月31日	1年総合
19	長井市立平野小学校	6月 1日	6年社会
20	庄内町立谷沢小学校	6月 6日	4年～5年総合
21	東根市立東根第三中学校	6月14日	1年社会
22	西川町立睦合小学校	6月28日	6年総合
23	山形市立第六小学校	7月 7日	6年親子行事
24	山形市立明治小学校	7月11日	6年社会
25	天童市立寺津小学校	7月14日	6年親子行事
26	天童市立成生小学校	7月20日	6年社会
27	寒河江市立寒河江中部小学校	9月29日	3年親子行事
28	朝日町西部公民館	10月21日	いもがわ少年教室
29	山形県朝日少年自然の家	10月27日	朝少まるごと縄文村
30	尾花沢市立尾花沢小学校	10月28日	6年親子行事
31	上山市中川地区公民館	11月 4日	縄文体験
32	山辺町立作谷沢小中学校	11月 4日	ものづくり講座
33	寒河江市立三泉小学校	11月 5日	6年総合
34	最上町立月楯小学校	2月 8日	「月楯歴史ロマンのつどい」

職場体験

	実施校	期間
1	山形県立上山高等養護学校	10日間
2	上山キャリアスタートウイーク	5日間
3	山形市立第二中学校	5日間
4	山形市立第一中学校	2日間
5	山形市立第六中学校	1日間

センター見学

	団体名	期日
1	上山市立南小学校	5月18日
2	上山市立西郷第二小学校	6月15日
3	栃木県上三川町議会常任委員会	7月 2日
4	中川地区公民館　粋いき倶楽部	7月 5日
5	上郷地区文化財愛護会	7月 7日
6	山形県立庄内農業高等学校	8月 6日
7	上郷地区子ども会	8月 9日
8	最上町立月楯小学校	8月22日
9	行司免遺跡現場作業員	10月19日
10	岩崎遺跡現場作業員	10月22日
11	最上町文化財保護審議会	10月23日
12	東北芸術工科大学	12月21日

体験学習

	団体名	期日
1	山形県立上山高等養護学校3学年	7月10日
2	中山町教育委員会	8月 1日
3	寒河江市教育委員会	8月 2日
4	山大付属小学校	10月12日
5	鶴岡市立山戸小学校	10月25日
6	鶴岡市立五十川小学校	10月25日
7	鶴岡市立福栄小学校	11月20日

現地調査説明会

今年度もたくさんの方が現地説明会にご参加下さいました。中でも川内袋遺跡には200人もの方が訪れました。ありがとうございました。

山形市　川前2遺跡（古墳時代）

寒河江市　上の寺遺跡（鎌倉～室町時代）

鶴岡市　行司免遺跡（奈良・平安時代）

鶴岡市　岩崎遺跡（奈良・平安時代）

鶴岡市　川内袋遺跡（縄文時代）

発掘調査報告会
「みんなで体験！考古学ひろば」

12月8日（土）・9日（日）に行われた「発掘調査報告会ーみんなで体験！考古学ひろばー」には1000名を超える方が訪れました。今年度は「見る・知る・触れる」をテーマに、考古学に親しんでいただけるよう体験を盛り込んだ内容にしてみました。会場いっぱいに笑顔があふれ、大盛況でした。ご来場ありがとうございました。

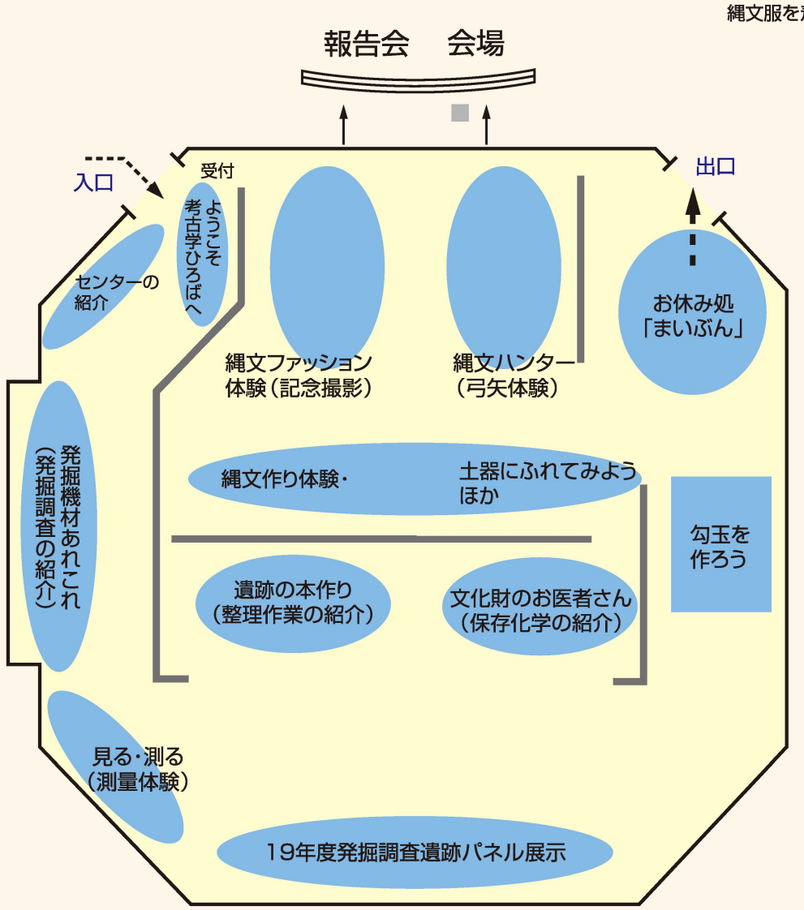
今年度発掘した遺跡についての報告会

縄文服を着て、はいポーズ

期　日／平成19年12月8日（土）・9日（日）
会　場／山形国際交流プラザ（ビッグウイング）
内　容／報告会：県内7遺跡の調査報告と
　　センターの仕事紹介
　　体　験：勾玉つくり。弓矢飛ばし
　　縄文ファッションほか
入場者数／1388名

入り口では縄文人がお出迎え

縄文土器を使った生け花



ぬり絵コーナー

縄文ハンター　狙いをつけてヤー

発掘現場で使用する機材を実体験

上山全国かかし祭りに
出品した縄文ビーナス

どの土器がくっつくかな？

土器の接合に挑戦

縄文土器をかいてみよう（なぞり書き）

保存処理の仕組みを説明

大好評。家族で勾玉作り

出前授業

当センターでは文化財の普及・啓蒙活動の一環として各学校や公民館などで「出前授業」を実施しています。

今年度も34の学校・公民館のお友達と一緒に学習することができました。出前授業は県内であればどこの学校でも伺いますので、お気軽に申し込みください。詳しくは当センターホームページをご覧下さい。

（財）山形県埋蔵文化財センター
TEL023-672-5301
（企画情報室）

寒河江市立寒河江中部小学校
縄文時代の生活についての説明

村山市立楯岡小学校
体験火起こし

上山市中川公民館
勾玉作り

上山市立本庄小学校
縄文風クッキー作り

山形市立第六小学校
縄文時代の編み物に挑戦

庄内町立立谷沢小学校
土器に触れてみよう

山形市立大郷小学校
体験弓矢飛ばし

新庄市立新庄中学校
石器で野菜切り

山形市立明治小学校
縄文ファッションで記念写真

遺跡発掘体験

鶴岡市立五十川小学校
川内袋遺跡の発掘体験

センター見学

鶴岡市上郷地区自治振興会
整理作業室見学

庄内農業高等学校
特別収蔵室の見学

職場体験

上山キャリアスタートウィーク
土器や石器の洗浄作業

出前授業34校・体験学習6団体・センター見学10団体・職場体験6校

今年もたくさんの友達がセンターに訪れました。ありがとうございました。

秘宝館

「秘宝館」は県内の貴重な出土品をお知らせするコーナーです。今回は「土偶シリーズ」の第3回目、西川町「山居遺跡」から発見された土偶を紹介します。山居遺跡は平成6年、東北自動車道酒田線（寒河江～西川間）建設工事に関わって発掘された遺跡です。

板状土偶（表）

板状土偶（裏）

板状土偶　西川町・山居（さんきょ）遺跡

西川町の山居遺跡から出土した板状土偶です。粘土を薄く伸ばし焼いて作ったので板状土偶と呼び、手や足が表現されない十字形になります。頭と体が別々に出土しました。発見されなかった左腕と体の半分は欠けています。約4,500年前の縄文時代中期の特徴を良く表す土偶の一つです。

顔の形は逆三角形で、目と口をくぼませ、鼻が高く、目鼻たちの整った顔です。アゴが前に張り出し、右耳には耳飾りのための小さい孔があけられています。

体は、腕を大きく横に広げた形になります。乳房は粘土を貼り付け、へそは丸い竹の棒を押し付けて表現しています。

顔を除いて、頭から首そして体まで縄目を転がし、一見すると、幾何学的に見える体の模様も、同心円や渦巻き、三角形などの文様を組み合わせて描いています。背中にも同じような模様がみられ、往時の服装の様子がうかがわれます。

悲しいような、悩んでいるような表情と体に描かれた模様から縄文時代の人達の感性の豊かさと美的感覚の鋭さが、私達にも伝わってきます。

センター改革を通して感じ得たもの

専務理事　柏倉　俊夫

昨年度から、センター運営の全般についての構造改革を進めるため、さまざまな場面で多くの方々と直接会って、センターのあるべき姿の本質論や、センターに対する思いなどを議論したり、あるいはセンターで働く人々の心の中を、少し聞かせたりしてもらった中で、私がこれまで当然のこととして思い至らなかったことに身が引き締まる思いと、原点に揺れ戻してくれた出来事があった。

それは、いわば縁の下の支えとなっている、整理作業員の方々の雇用形態について、センターの支援者として、正当に位置づけ認知するとともに、意欲を持ってもらうため、「自立する女性を支援する制度」に確立しようとした時である。

「仕事をし、対価として賃金をいただくありがたさ、そして仕事をさせてもらうありがたさ」の大切さを忘れていた私の心に響かせてくれたのが、支援していただくために個別に選抜し、面接した整理作業員の方々なのである。

もちろん仕事で得られるものはお金だけではないが、彼女たちは、生活することに真剣であり、働くことが、そしてそれによってお金を得ることが、どれほど苦労を伴うものである事か、私は、彼女たちのあの言葉と、強いまなざしを受け、今、社会的にも与えられた職責の果たし方を知らない人の多い中において、働くことの意味を改めて感じたものである。

その中でも、特に、従来どおりのセンターの体質を改善するため、「改革」の思いをこめて今年度の4月に組織化した遺物整理に携わる方々の、与えられた仕事に対する「集中力」と「責任感」には頭の下がる思いであり、私の予想をはるかに超えた成果として現に存在するのである。このことはセンターの全職員が正当に評価し、深く胸に思いいたし反省すべきことであろう。

あと1ヶ月余で、センター運営の厳しい幕開けになる年の平成20年度を迎えるわけであるが、どんな職場でも、そしてどんな立場にあるものであっても、この「仕事をする」と言う気持ちを忘れずに、真剣に一日一日を大事に過ごすことにより、難かしい局面を良い方向に変えることにもつながるし、それにもまして、この時期にセンターにあった自分を振り返り、自信と誇りが得られる思い出のほうが、人生におけるより大きな財産として残るものと思うのである。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301（代表）

編集後記

12月に実施した「発掘調査報告会（みんなで体験!考古学ひろば）」には多くの県民の方がお越しくださりました。ありがとうございました。

来年度も学校・地域の方々から親しまれるセンターにしていきたいと考えています。